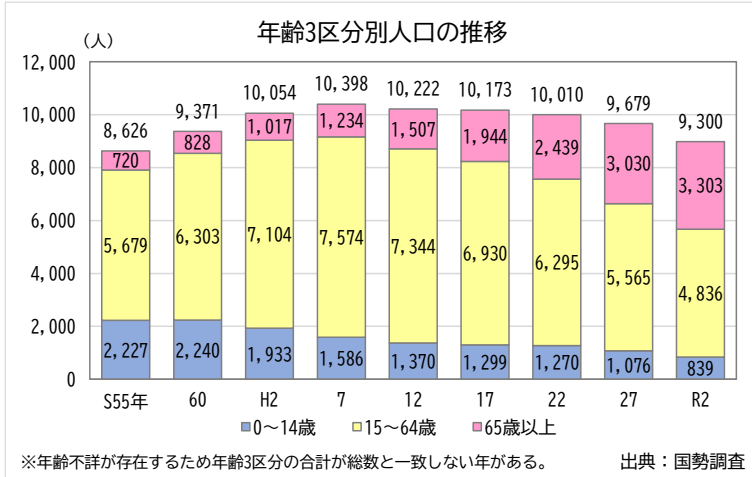


Ⅲ 中井町らしい健康・食育

1 健康・食育に関する中井町の現状

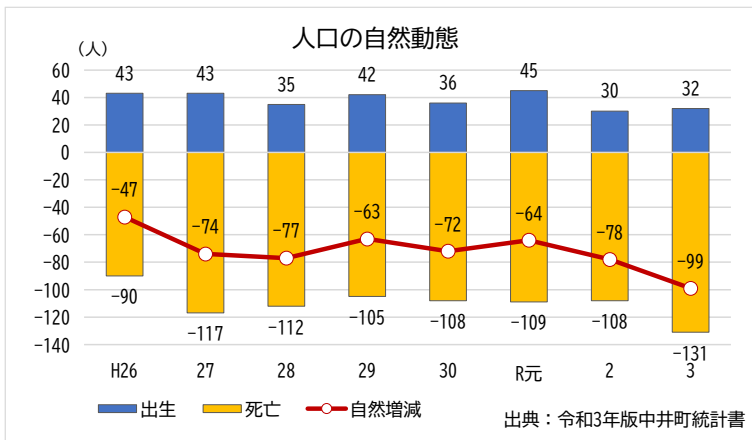
中井町の健康・食育に関する現状は、次のとおりです。

(1)人口



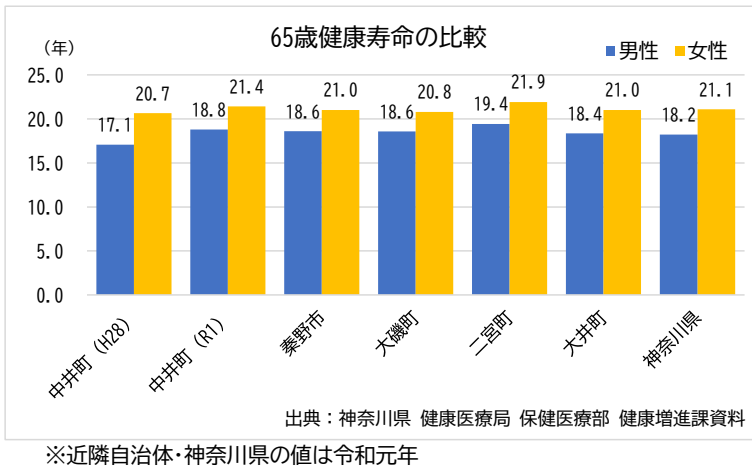
- ◆本町の人口は、国勢調査によると、平成7年をピークに減少が続いており、令和2年では9,300人となっています。
- ◆少子高齢化が進み、令和2年では0～14歳が10%を切る一方で、65歳以上が全体の3分の1以上を占めています。

(2)人口の自然動態



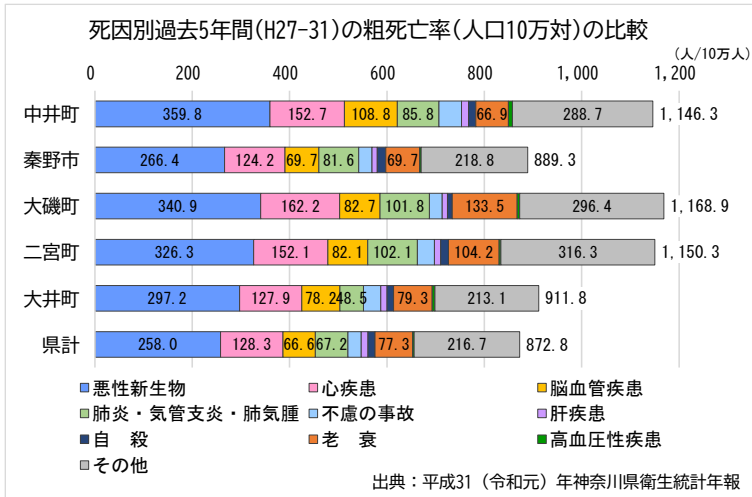
- ◆出生は毎年30～40人台で推移しています。
- ◆死亡は高齢化が進んでいることもあり、増加傾向にあります。
- ◆出生と死亡の差である自然動態は年々マイナス幅が大きくなっています。

(3)健康寿命



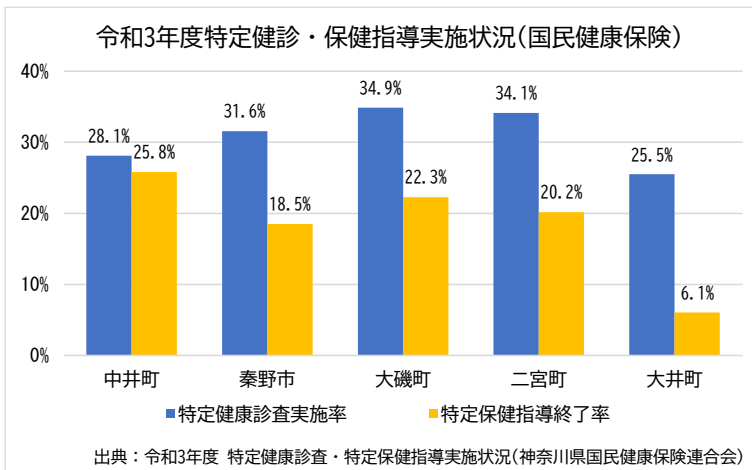
- ◆健康で日常生活を支障なくおくることができる年齢を健康寿命といいます。65歳時点での健康でいられる期間は令和元年時点で男性18.8年、女性で21.4年であり、平成28年に比べると男性で1.7年、女性では0.7年長くなっています。
- ◆神奈川県平均と比較すると、男女ともに健康寿命が長いという特徴がみられます。

(4)死因別死亡率



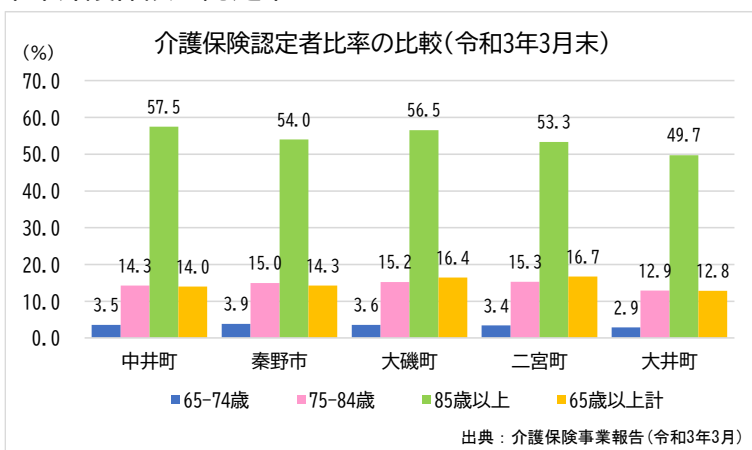
- ◆「悪性新生物（がん）」「心疾患」「脳血管疾患」が3大死因となっています。
- ◆「悪性新生物（がん）」および「脳血管疾患」の死亡率は県平均、近隣自治体に比べて高い傾向にあります。

(5)健診の受診状況



- ◆国民健康保険の特定健診の受診率を近隣自治体と比較すると低い状況にあります。
- ◆特定保健指導の終了率は近隣自治体で最も高くなっています。

(6)介護保険の認定率



- ◆65歳以上の介護保険認定者比率は14.0%と大井町に次いで低くなっています。
- ◆年齢別にみると、84歳までの年齢層では認定者比率は近隣自治体に比べて低い水準にありますが、85歳以上では最も高くなっています。

2 中井町らしい健康・食育の推進

中井町らしい健康・食育を進めるために、本町が有する地域資源を活用しながら、取組を進めていきます。健康増進・食育推進に向けて、次のような地域資源の活用が考えられます。

【施設（屋外）】

- ◆中井中央公園（天然芝グラウンド、パークゴルフ場など）
- ◆里山の散歩道（こゆるぎの丘、みかんの花咲く里山コースなど）
- ◆巖島湿生公園、震生湖
- ◆民間施設（2つのサーキット、ゴルフ場など）



【施設（屋内）】

- ◆保健福祉センター
- ◆未病センター・なかい健康づくりステーション
- ◆ネウボラ・子育て支援センター



【自然環境】

- ◆富士山や相模湾、里山の眺望
- ◆里地里山の四季それぞれの匂い
- ◆野鳥のさえずりや虫の声、川のせせらぎ

【食】

- ◆良質な地下水を利用した低廉な水道水
- ◆露地野菜、温暖な気候を利用したみかん栽培
- ◆里やま直売所（中井町農産物直売所）
- ◆なかい里都まちC A F E、里都まちキッチン



【イベント】

- ◆里都まちなかスポーツイベント、中井町健康マラソン大会、美・緑なかいフェスティバル
- ◆竹灯籠のタベ、あかりの祭典（町民主体、町民協力型イベント）

【地域活動など】

- ◆まちづくりパートナー制度、なかい体操サポーター、里都まちぷらっとスポーツ
- ◆多様なスポーツ・芸術・文化団体
- ◆町内一斉清掃や自治会活動（高い住民参画意識）、防犯パトロール